



整備加工品販売

航空機の部品は高価なものも多く、何百万円するものも。。。そんな中、航空機で使用できなくなった部品を整備士が加工してグッズとして販売しています。



客席シートカバー

JAC機のシートカバーはATR機よりレザー素材を使用しており耐久性は布製に比べはるかに良く、交換頻度少なくなりました。そんな取り卸しが少ないCOVERを今回はリメイクし「小銭入れ」などへ加工しております。



タービンブレード

これはエンジン燃焼で得たエネルギーをエンジンの回転へと変換させるための羽根(ブレード)です。使用しなくなった羽根(ブレード)を切削、磨き上げ作成しました。



外板

航空機の構造は主に骨組み(フレーム等)があり、その周りに外板(SKIN)が貼り付けられ形を成しています。→その外板の材質はアルミニウムが使用されており、今回はこの同じ材質を使用してこの「ブレード キーホルダー」は作成されています。

最初の板の状態 カット、削り成型していきます。



磨き上げて完成!!

実際のプロペラブレードのように、ひねりを加えたこだわりのキーホルダー!!

イグニッションプラグ

これはエンジン始動の際に燃料に着火させるための部品で、(今回は屋久杉の土台を合わせて使用しています)。



他にも多数、制作しておりますので是非お求めください



*当日は在庫次第では販売していない商品がある場合がございます。ご了承下さい。



退役したSAAB機のシュミレーターより取り外したPARTSもあります!!

奄美の小学生絵画展示

JAC創設の地、奄美大島の小学生のみなさんに「奄美の宝、つなげよう未来へ」をテーマに絵画を描いていただきました。ご協力いただいた小学生の皆さん、ありがとうございました。

宇宿小学校のみなさん



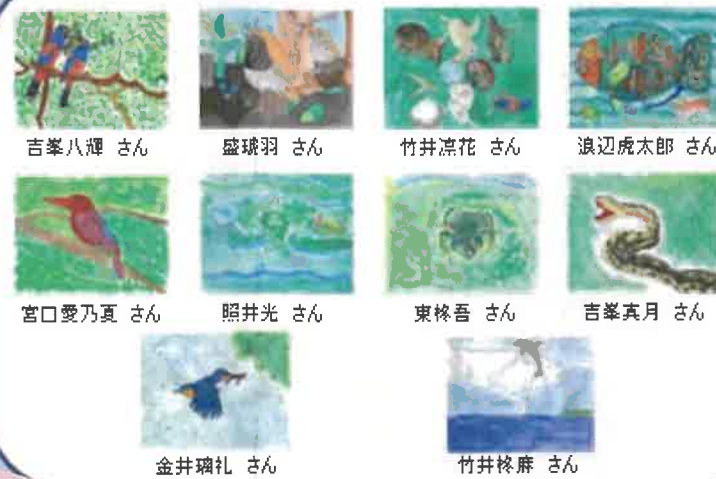
緑ヶ丘小学校のみなさん



節田小学校のみなさん



手花部小学校のみなさん



JACフェスティバル

40周年を記念し、昨年12月10日奄美大島でJACフェスティバルを開催しました。当日は1,000人を超えるお客さまに参加いただきました。ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました。社員も元気をもらいました。次は今年3月17日に鹿児島で開催予定です。皆さまのご来場をお待ちしています。